

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない こと が多 い	全 く でき て い ない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	5	2			法人、こぶし園の理念に基づき、事業所独自の理念を掲げており、住み慣れた地域での生活が継続できるようにしている。	理念に基づき頑張っている。
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	2	5			定期随時サービスの特徴を理解するように努め、事業所の理念に沿った援助をするよう、ミーティングでも管理者から指導があり、職員間でも学び合っている。	出来ている。定期随時サービスにはいい側面もあれば利用しにくい側面もあるかと思う。その中で援助を行うのは大変な事かと思う。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	2	5			毎月のヘルパー研修にて専門技術の向上に努めており、法人外の研修にも参加できるよう業務に組み入れている。法人内の研修でも他職種の職員と交流する機会がある。行った判断について職員間で相談したりミーティングに挙げケース検討を行い、能力向上に努めている。	なかなか研修に十分に参加できないご時世かと思うが工夫されているのだと思う。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	1	6			職員の人数が少ないため配置を考える事は難しいが、その中で職員全員が同じ援助が出来るように情報を共有している。	職員が少ない中で工夫していただけると思う。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	1	6			十分と言いきれないところはあるが、タブレットの使用や、電話でも相互に意見を求めたり、状況を伝えたりし、共有するようにしている。	十分と言いきれない何かがあるのはどんな事か？ どんな事が不十分なのかをみいだせれば次につながると思う。 コメントで「十分と言いきれないところ」ありますが、具体的にはどのようなところですか。その部分を改善するためにどのようにしたら良いと考えていますか。 必要時には電話連絡を頂けるので助かる。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	1	6			利用者の訪問時間に合わせ、職員のシフトを変更し対応しているが、人員不足のため対応できないこともあり、その旨ご家族、ご利用者に変更のお願いをし対応している。 急な訪問の変更にも対応している。	利用者の希望をすべて聞く事は難しいと思う。日々の信頼関係が大事になって来ると思うので頑張っている。 人員不足はどの事業所でも問題だと思います。法人単位で検討が必要だと思います。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	1	5			新型コロナウイルスの蔓延で今年度は介護・医療連携推進会議を開催することができなかった。	書面の開催で残念だった委員の皆様から意見を頂いて反映できた事はあるか？ 現在の状況がいつまで続くか見当がつかない状況です。しかし、対面での会議ができないからと言って何もできないわけではありません。書面だからこそ…の利点もあると思います。今回の事例検討のケースのように、事業所側から各委員に意見を求めることも良いことではないでしょうか。事業所からの積極的に話題提供をしていただけると、現場を知れて良いと感じます。 顔合わせが出来ない事は残念だが仕方がない事だと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき て いる	でき て い ない こ と が 多 い	全 く で き て い ない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	6	1			フェニックスネットの活用でご利用者の状況については共有できているが、緊急性の高いことは電話を入れ対応している。	出来ている。 電話を頂けるので助かっている。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	4			車両事故、災害時、防犯などのマニュアルが作成しており、タブレットにも入っており、いつでも確認できるようになっている。交通安全は安全運転管理者より指導が行われ、定期的に注意喚起がなされている。夜間訪問ではココセコムを導入で対策している。	マニュアルがタブレットに入っているという事はとも良いと思った。 マニュアルはあっても職員が理解できているか時々確認してみてください。 いくら気を付けていても事故は起こりますので、十分に気を付けていただきたいと思います。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	5	2			タブレットはパスワードをかけて対策している。タブレットや書類全般についてヘルパー車の車内に置いていく事がないよう、いつも持ち歩くよう、個人情報の管理について日々皆で共有している。	充分注意している。 対策をしていて不安の残る項目だと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき てい る	でき てい ない こと が多 い	い ない 全 く でき て		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	4	3			ほぼできているが、職員体制から訪問できない時間もあり、ご利用者、ご家族へ説明し、了承を得ている。対応可能になった際にはその旨対応している。	出来ている範囲で頑張っている。時間を合わせる事は本当に大変だと感じる。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	3	4			介護保険認定期間の更新時、サービス変更時にはアセスメントを行いフェニックスネットにて共有しているが、つき合わせまでは出来ていない。	毎月看護さんはヘルパーの計画書を基にモニタリング、アセスメントをして下さっているのを見てヘルパーはアセスメント計画書を作成しているのでつき合わせは出来ているのではないかと？つき合わせができていない原因は何でしょうか。互いの専門職としての意見を出し合い、より良いケアの提供に努めてください。顔を合わせてじっくりと話し合える時間があるといい。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	2	5			心身機能の維持回復、在宅生活の継続に向けたご利用者、ご家族の意向を取り入れ、ケアマネへ伝え反映させている。日々の訪問でご本人の出来る事に着目して行ったアセスメントを元に計画を作成している。	「未来志向型」の計画は難しい。本人の状態の把握を充分に行い、出来る事、出来ない事、したい事と出来るけどしたくないなど・・・様々だと思う。ヘルパーの力量もあるから。出来ている。心身の機能の維持、回復をする事は介護を展開する中で難しい事だと思っている。(食事摂取全体を見ていられるわけでもないという状態の変化は感じられない等)

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	6	1			体調不良時、悪化時にはすぐに訪問看護、ケアマネに連絡し、また日々の情報の共有を行うことで重度化しないように努めている。 薬だけに頼らず食生活を見なおすなど、医療に依存しすぎないように工夫している。	少しの変化を見逃さないのは日頃の観察力が物を言うという感じ。食生活を見直す工夫をされているのは素晴らしいと思った。 重度化防止は介護保険の基本的な考え方です。そのためには、悪化しないように予防していくことが重要だと思います。しかし、場合によっては薬など医療面からの対応も必要(有効)だと思いますので、多職種との連携を行ってください。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	4	3			外出、受診、デイサービスの変更等、ご利用者、ご家族のニーズに対し、援助日や訪問時間の変更などに柔軟に対応している。	柔軟に対応している。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	6	1			毎月モニタリングを行いケアマネに報告するなかで、計画へ入れてもらいたいことを伝えたり、また担当者会議にて状況変化をお伝えし、計画への反映を提案している。	利用者の状態が急激に変化する事がある。すぐに計画変更をスムーズに行えているか？

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価					事業所コメント	外部コメント
				実施状況						
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	いない	全くできていない		

II 過程評価 (Process)

1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供

(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供

①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	5	2			例えば入浴介助も訪問看護と連携し共に訪問し、体調面や処置は訪問看護、入浴介助はヘルパーというように分けて援助に入らせてもらったり、身体面の事、薬の事で変化があった時はすぐに看護に連絡し指示をもらうなど、お互いの専門性を生かした役割分担でサービスを提供している。	出来ている。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	6	1			日々の様子をタブレットを通して情報提供を行い、その中で必要な事は訪問看護より指示、助言をもらっている。	出来ている。

10

①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	5	2			契約の時に説明し、ヘルパーの計画書の配布の際にも説明している。その中でだんだんと計画外の事も出てくる。	「計画外の事」とはどんなことですか。そういう時は、どのように対応していますか。
---	------------------------------------	----	---	---	---	--	--	---	---

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	4	3			サービス開始前、ケアプラン更新時に説明しているが、だんだんと計画とずれてくる事もあるので、その都度確認し、伝えていくようにしている。	計画書と変わって来る事は必要だからだと思うので本当に必要な事を見極めて欲しい。「計画とずれてくることもある」とは、具体的にはどのようなことですか。また、ずれてきた時の確認とは、誰にしていますか。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	5	2			変化が生じた際は迅速にご家族に伝えている。連絡は電話、連絡ノート、メールなどで、利用者ごとに対応方法を事前に決めておいてある。	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	2	5			ケアマネとの情報共有はタブレットを中心に行っている。	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	1	6			事業所ミーティングで上がった内容、問題点、改善策をモニタリングで伝えている。	出来ている

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき て いる	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	4	3			サービス担当者会議の場だけでなく、目標達成の為に情報提供を行っている。また、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で会議に出席できないことがあったが、照会用紙にて他職種へ情報提供を行った。	出来ている。 早く顔を合わせて活を深めて行けるといいと感じている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		3				
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	2	1				今は退院カンファレンスも開催できない状況の中での退院状況把握は以前より難しくなったと感じている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない こと が多 い	全 く でき て い ない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)		2				
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	1	3	サポートセンター入口に、いつでも閲覧できるように置いてある。	閲覧したチェック表はあるか？ どのくらい(誰が)の人が見ているでしょうか。職員へは、どのように周知していますか。会議録を見て職員から何か意見はありますか。 サポートセンターの入口が多少入りにくさを感じる所がある。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			6	1	新型コロナウイルス感染症蔓延のため、地域の集まりなどに参加できず広報活動ができていない。 これは仕方のない事なので、これからは別の方向を考えて行く必要性を感じる。 色々な広報の形があると思うので工夫してください。 今の状況では集まり等に参加することは難しいですが、他の方法で地域の方に知ってもらうことはできないでしょうか。回覧版や玄関先の掲示物、関係する施設(連携している医師等)などにチラシをおいてもらう等できないでしょうか。 今のコロナウィルスの状況では難しくなり困っている。	

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		4	3		行政の方針や計画について、事業所やヘルパー全体で学ぶ機会がなく個々の学習に任せているため、理解できていない職員が多い。 地域包括システムを細かくは理解出来ていない。 資料を確認したり理解に努めている。	地域包括システムを理解して援助に当たるのと理解しないで援助をするのではサービスの質も変わってくるので理解する様に努めて下さい
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	3		4		特定の建物に限定せず、宮内地域等、可能な限り訪問している。	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)			1			

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				事業所コメント	外部コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	3	4			毎月のモニタリングを通して計画目標の達成状況を確認し、必要時は計画を見直し、さらなるサービス提供の実践につなげている。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	5	2			ご利用者、ご家族より、在宅で生活ができている事に対して安心との声が聞かれている。状況や要望に応じた訪問頻度やコール対応にも、感謝の言葉を頂いている。できるだけ自宅で過ごしたいと言われているご利用者が多く、生活を継続できるように努めている。 ご本人、ご家族の要望を取り入れ安心感を持って生活できるように取り組んでいる。	多くの方が安心して暮らせる様にこれからも頑張ってください、